

若松産ホップも栽培しており地元PRにも尽力しております。ここでは種まきや収穫、おいしい野菜の作り方等の体験が可能である。

最後はトマト狩り農業体験のネイチャーです。炭や有機肥料を使用し、自然界の和を大切に土壌で育てた5、000本の大中小のトマト狩りが出来ます。(3月〜7月初旬)又初めての方でも安心して美味しい野菜の作り方を伝授。手ぶらで体験農業に参加できる事が特徴です。

漁業関係ではひびき灘漁協岩屋支所あかもく部会の女性メンバーにより北九州市を代表する特産品となった岩屋あかもくの採取・加工場見学(3月末〜5月半ば)が可能です。

今年ブランド化された若松潮風プレミアム、糖度の高い大玉スイカや今回ご紹介させて頂いたいた事業者はあくまでも一例で、今年ブランド化された若松潮風プレミアム、糖度の高い大玉スイカや等のブランド品紹介、農業漁業以外にも、様々な業種があります。また、若松区だけでなく、他の区においても体験型観光の事業者となっていた方には多いと思います。

他の都市に先駆け、体験型観光に力を入れていく必要があると思います。



このように体験した旅行者、地元産業の活性化、経済波及効果など様々なメリットがある体験型産業に対して市の支援が必要と考えますが、見解伺います。

産業経済局長からの答弁

大都市でありながら田かな自然に囲まれた本市は、体験型観光のポテンシャルが高いと考える。

農業・漁業体験はその地域しか体験できないもので新たな観光になる。

観光客の受け入れ体制整備や観光事業としての採算性確保などの課題がある。

まずは、議員からの紹介の事業者や体験型観光に意欲的な業者の方々との意見交換をしていきたい。

【第2質問】

響灘洋上風力発電のプロジェクトが進んでいます。風力発電は、発電の際に温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギーであり、SDGs未来都市である本市の先進性を体感できる施設の一つになります。本市ならではの体験型観光メニューとして活用してはどうでしょうか。

市長より大変よい答弁を頂きました。

日本における脱炭素生活のシンボリックな事業として「洋上風力発電の推進」が行われている。

「洋上風力発電」は、本市の港湾整備としての「グリーンポート計画」の最初の問題提起から10年かけて悪戦苦闘しながら、政府関係方面の理解を得られた本市のプロジェクトである。

本市のものづくりのDNAの伝統を生か

して最大級の成果を上げたいと準備を進めている。

まだ風車がほとんど立つには若干の時間がかかるが、完成すれば日本の初めての拠点となる。それはなかなかの壮観だと思う。色々な観光があるが、「脱炭素」や「エコミュージアム」もこれから注目されていく。その中でも、もっともビジュアルで非常に美しい風車を響灘のロケーションでみられるのは最高の体験型観光になると大いに期待している。

市長質疑

鳥獣被害対策について

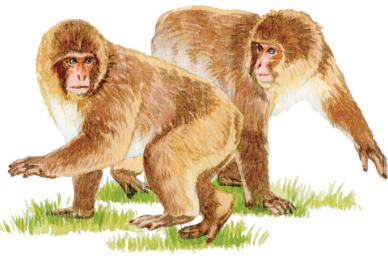
農家からの要望を受け、令和2年度から駆除対象となったアナグマ、アライグマの駆除実績と効果について質問しました。

又、今年に入り若松区で頻繁に出没し、人に危害を加えているサル被害の状況と推定頭数に関して質問しました。

質問に対して、市長から鳥獣被害対策を今以上に強化し、継続して行くとの答弁をして頂き、その旨を農家の方に伝えました。

北九州市内に生息するサルは50頭のグループが2つあり、

約100頭との事でした。今現在もサル被害が発生しており役所、警察等に対応の強化をお願いしています。



〒808-0103
北九州市若松区二島1丁目3-25
TEL.FAX 093-701-5543
若松イオン交差点
若松イオンバス停そば

北九州市民の皆様の声を市政にお届けするようにしっかりとがんばっております。どうぞお気軽にお立ち寄りください。
この建物の左側に駐車場あり

